



255

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年3月23日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

デイサービス継続へ背中を押すもの

23日(日)＝1、3面

迫る



この冬、大寒波に襲われた日本列島。2月、青森県平川市にも大雪が積もりました。同市の高台にあるデイサービス「ふるさと温泉」には、外の寒さとは打って変わって「温かい」光景が広がっていました。源泉掛け流しの温泉からあがったおばあちゃんたちがくつろいでいました。「ここはあったけーなー」と笑顔で。

この「ふるさと温泉」を運営するのは、鈴木啓修さん(70)＝写真。毎日新聞の投稿欄「男の気持ち」へちよくちよく投稿をしている常連さんです。青森支局の足立旬

子支局長が鈴木さんの「男の気持ち」を読み、取材を思い立ちます。それは鈴木さんが心不全を患い、デイサービスの継続を迷っている、という内容だったからでした。

鈴木さんはデイサービスの管理者だけではなく、利用者送迎の運転手、昼食の準備、ケアプランを練るなど、1人四役という忙しさ。体を思えば辞めたい、でも、利用者を考えればそんなことも言えない…。鈴木さんの背中を押しつづけるものとは何でしょうか。青森弁も飛び交い、心がほっこりとする内容です。ご期待ください。

論点

大阪・関西万博「成功」の鍵は

26日(水)＝オピニオン面

大阪・関西万博の開幕が4月に迫っています。費用の上振れなどマイナスの側面がクローズアップされがちですが、「成功」に導き、未来に意義あるレガシー(遺産)を残す

にはどうすべきなのでしょう。

世界、日本、大阪にとって開催はどんな意味を持つのか、佐野真由子・京都大大学院教授(万博学)ら各分野の専門家に聞きました。



大阪・関西万博会場の夢洲

「年収の壁」などについて協議に臨む国会議員ら



働き控えなどにつながっていると考えられる「年収の壁」が、変わらざるを得ない。今国会で税制改正の関連法案が成立すれば、所得税の支払いが始まる最低ラインである「壁」が年収103万円から160万円



変わるか「年収の壁」

23日(日) 総合面

に引き上げられます。一方、「年収の壁」は税制だけでなく、社会保険制度でも指摘されています。「壁」が動く私たちの手取りや働き方は変わるのでしょ

特集 ワイド

追悼 枝元なほみさん

24日(月)＝夕刊2面



料理研究家の枝元なほみさん＝写真＝が2月27日、69歳で亡くなりました。古希を間近にした突然の訃報でした。

2013～18年の朝刊連載「西原理恵子と枝元なほみのおかん飯」で、本紙読者

にも親しまれた枝元さんは、「夜のパン屋さん」などの社会活動に積極的に関わったことでも知られます。

連載の担当デスクで、その後も親交があった記者が、枝元さんの早すぎる死を悼みます。

竹橋の窓辺から

編集後記



桜のシーズン間近です。この季節、毎日新聞社は選抜高校野球を主催しています。入学・進学を控えたお子さまに向けた毎日小学生の春キャンペーンも実施中です。新聞をお子さまがおもしろいと思うようなプレゼントがもらえます。ニュースが遊びながら学べる「MYド」も紹介ページからダウンロードできます。QRからぜひご覧ください。(石原聖)

毎日新聞